

自動生成とトレース機能

取合いデップス差を考慮した梁フランジの刃落とし加工や、方杖・デッキ受け・かさ上げ材や仮設金物を自動生成できます。

柱仕口部やCFT構造の充填孔や空気抜き孔をロジックによって自動加工できます。

BIMモデルをCAD機能で加工し、異形水平ダイヤの形状変更が可能です。その加工手順ログを保存し自動再生ができます。

CAD機能でファスナー等を生成し、自由に配置が出来て、変更も一元管理しています。設計図を画面にトレースする事で部材配置のサポートが可能である。同時に複数の方が入力可能となっている。

特殊取合いの適用範囲

鉄骨加工をシミュレートするマクロ言語により、新たな取り合い方法が発生してもこのマクロ言語を駆使しご要望に対しても即時対応ができます。新たな材料や既製品についても迅速に対応しリリースしています。たとえばスリーブの既製品補強材については、ハイリング、OSリング、フリードーナツ、EGリングと、販売されている補強材メーカーに対応済みである。